



ニュースレターVOL.21
2018年2月発行

「わっと」は当協議会の愛称です。
人権ってなに?の「What」と人権の輪が「わっと」
広がってほしい願いが込められています。

箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレター

〒562-0014 大阪府箕面市箕野1-19-4
箕面市箕野中央人権文化センター内
TEL/072-722-2470 FAX/072-734-6509
E-mail jinken-jimu-minoh@silik.ocn.ne.jp
http://wat-minoh.sakura.ne.jp/

新年互礼会改め「故 河野 秀忠 人権協会長を偲ぶ会」 お礼

昨年9月8日河野人権協の会長(みのお市民人権フォーラム実行委員会実行委員長)が1年3ヶ月の入院・闘病生活の末、多くの方々のご願いも届かずご逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りすると共に、生前の御友情に対し、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私たち箕面市人権啓発推進協議会といたしましても、その悲報に触れ自身の身が切り離される思いと、悔しさに心を痛めた次第でした。本当に残念でなりません。

しかし、河野会長の50年におよぶ人間としての人権復活の取り組みは、多くの人を勇気づけ、見守り、包み込み、あるいは励ましてこられました。この河野会長の姿を忘れることなく、しっかりと受け止め、次の世代に伝えることが私たちの使命であると去る1月20日に「故 河野 秀忠 人権協会長を偲ぶ会」を行いました。

当日はなんと90人におよぶ関係ある方々が「らいとぴあ21」にお集まりになり、偲ぶ会が実施できたことを本当にうれしく感じました。

来賓や多くの友人知人の皆様方からのメッセージをいただき、河野会長のすさまじい生き様を垣間見ることができ、多くの方々で確認できたことと思います。

箕面市人権宣言の精神や趣旨により一層寄り添いながら、今後とも河野会長の意志を受け継ぎ、伝えていかななくてはと改めて心に誓いました。

多くの参加された皆様、当日は都合がつかなくて来れなかった皆様に対しまして心から感謝申し上げます。お礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

【箕面市人権協 事務局長 前田 功】



【「河野秀忠とかたろうかい」ご案内】

○ 呼びかけ: 語ろう会実行委員会
(代表 牧口 一二さん)

○ 日・時 4月19日(木)
16:00~20:00

○ 場所 たかつガーデン
※申し込み先、参加費等詳細は人権協事務局にあります
※締め切りは3月19日

「第32回 みのお市民人権フォーラム」を終えて

第32回のお市民人権フォーラムは、昨年12月2日、3日の日程で実施されました。

12月2日の全体会では直木賞作家の高村薫さんをお迎えし、人間の意思が未来を開く～“ひと”として生きるため～をテーマにお話をいただきました。725の方が市民会館大ホールに参加され、会場は熱気に包まれていました。

今年は、講演の前に大阪市立大池中学校 PTA おやしバンドによる「東京 VICTORY」や「イムジン河」などの熱のこもった歌と演奏で華を添えていただきました。

講演では講師自身が子どものころから体感し、観察された戦争被害や差別体験をもとにどのように自分の意思で差別と向き合い、考えていこうとされるのか、作家という立場からお話をいただきました。

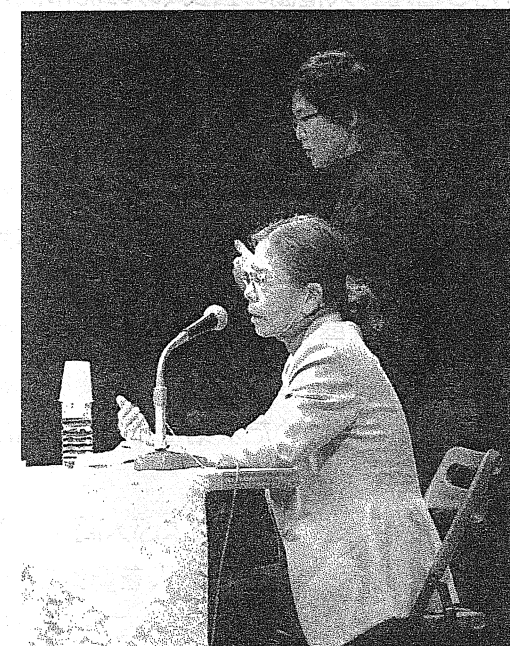
また、講演会の終了後も気さくにサイン会に応じていただき、違った一面もみせていただきました。

全体会を皮切りに2日間にわたって地方自治、部落問題、教育と子ども、女性、障害者、外国人と6つのテーマに分かれて分科会を行い、合計で344名の参加がありました。

アンケートから(抜粋)

【全体会】

- ・おやしバンドの選曲にバンドの意志が感じられて心に響きました。
- ・高村さんのお話、身にしみました自分の中にある差別意識と勇気をもって向き合いたいと思いました。
- ・相手を認め、違いを知り、一歩を踏み出してみて緩くかわる、受け止める、共存する、オープンな社会をめざすということが印象に残りました。



【人権フォーラムに対する意見・要望】

- ・初めて参加しましたが、とても貴重な1日となりました。
- ・「いっさいの」の愛称で馴染んできた人権フォーラムが32歳。成熟したんだなあと感慨を覚えます。多くの人たちの熱い思いと次世代へ引き継ごうとする使命感、箕面の地の愛、そんな諸々の結晶であるこのフォーラムが、太く長く続きますよう祈念いたします。
- ・司会者や来賓が「手短に」という身体表現を含むフレーズを使ったのが気になりました。言葉遣いを考えることが意識を改めて高めたりすることにつながると思います。

報告1. 「極寒！！」の韓国ツアー

【在日外国人問題啓発研究部会】

部会主催の韓国ツアーは、1月5日（金）～1月7日（日）の2泊3日で実施されました。

「1月の韓国は寒～いよ」と、事前学習していたので、極暖のシャツやカイロを準備して出発したが、気温は低いもの（朝晩は零下）の穏やかな3日間でした。美味しい韓国料理やオリンピック前のソウルの街を見学しました。帰国後の気温は極寒（マイナス10度以下）だったそうです。

1日目、仁川空港からソウルへ国際空港鉄道で約1時間。チェックインの後、南大門市場や東大門市場を見学し、お買いものを楽しみました。

2日目の朝食は明洞で「ソルロンタン」をいただき、体も心も温かくなりました。それから漢江（ハンガン）に沿って北に向かい「鳥頭山（オドゥサン）統一展望台」を目指しました。ここは、漢江と臨津江（イムジン河）の合流点を望む場所に建てられており、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）を対岸に見ることができました。展望台の内部では、南北離散家族の人たちについての説明や展示物がありました。また、近くの資料館では、拉致問題についての特別展が開催されていました。その資料館の窓越しに線路が見えました。それは、ソウルと平壤をつなぐ鉄道で、分断されてからは列車は通っていません。午後からは「戦争と女性の博物館」を見学しました。街中にある小さな博物館（私立）に、従軍慰安婦の歴史が展示されていました。

気温は低いのですが、おだやかで水墨画に登場するような風景を車窓から眺めながら、そこにある現実を実感する1日でした。

3日目は、朝食を明洞で「干し鱈のスープ」をいただきました。あったかいスープでほっこりしてから早帰り組は帰路に、遅帰り組はソウルの街

見学に出かけました。

このニュースレターが発行される頃には、オリンピックも終わっていますね。

システム【国】をこえて～韓国旅行記～

1月5日から、ソウルに出発しました。出かけた場所は、2か所。韓国、共和国をわけるイムジン河。従軍慰安婦の歴史を伝える「戦争と女性の人権博物館」でした。

イムジン河からは、対岸にすでに共和国があり、分断を実際に確かめることができました。印象的だったのは、閑散としたイムジン駅でした。そこには、右にソウル、左に平壤と書かれた南北の統一を願う表示がありました。その後、私立の「戦争と女性の人権博物館」に向いました。

国は、もともと一人ひとりの幸せを願ってつくられたシステムです。重要なのは属する国民一人ひとりのはずです。私が韓国で見たものは、システムによって、システムを守るために分断された境界線（それは人がつくったもの）です。国を守るために行われた戦争によって、人生を踏みにじられた女性の歴史そのものでした。テレビでは連日、システムを守るための報道が繰り返されています。一人ひとりの人権が踏みにじられたという事実そのものが最重要なことです。

もう一度書きますが、本来国というシステムは、国民一人ひとりを守るためにつくったものです。私は、日本で生まれた日本人ですが、人権が踏みにじられた歴史から逃げてはいけなし、その前では日本も韓国も共和国もどの立場の代弁者になれるようには思いません。私が感じたことは、3つの国それぞれの一人ひとりの幸せを追究するためのシステムづくりの必要性です。それを実現するための具体的な行動とそのため解決すべきことの確認が国同士のいさかいの議論を終わらせることになるのではないかと感じます。

とはいえ、韓国のおいしい料理を食べ、韓国

のおしゃれな服を買い（娘たちは化粧品）、韓国の名所をめぐり、楽しいひとときを過ごしました。韓国の冬は寒く、トイレを探すのに苦労しました。日本のトイレ事情は、なかなか優れているということも感じました。（笑）（S・H）



ソウルぶらぶらある記

訪韓を重ねソウル行きも回を重ねると、土地鑑もついてひとりでぶらっと知らないところを歩きたくなります。今回は、城壁の町ソウルを実感するべく、東大門から北へ延びる城壁を歩いてみました。

チョンゲチョンの始点から川縁をのんびりと1時間ほど東大門まで歩きます。壁面にさまざまなモニュメントもあり、川には鯉が泳いでいたり水辺歩きも楽しいものでした。

東大門横の公園にある城壁は緩急はありましたが、さほど距離もなく、きちんと整備されています。しばらくゆっくりと歩くうちにどんどん高度も上がり、東大門もはるか眼下にみえます。また、城壁の東側に望める傾斜地にはびっしりと家やマンションが張り付くように建っています。ソウルはファッションや食べ物だけではなく、坂の町でもあったことをあらためて実感できます。

頂上の広場を過ぎ、西側に降りるとそこはソウルでも有名な大学が集まっている大学路（テハンロ）。ソウル大学のまえも今回はじめて歩きました。チョンゲチョンから帰ることもできますが、今回は、東大門にある広蔵市場（クァンジャンシ

ジャン）をぶらぶらと歩きました。

次は、すこしハードですが、青瓦台の北にある城壁歩きにチャレンジしてみたいです。（K・T）

報告2. 韓国料理教室

【在日外国人問題啓発研究部会】

恒例の在日外国人問題啓発研究部会の料理教室。今年度は2月18日に行われ、18人の参加者でした。

今回のメニューは、「オーサム プルコギ」「とうふのジョン」「ナムル」と「わかめスープ」です。



みんなで材料を洗ったり、切ったり、炒めたり、茹でたりと1時間ほどでほぼ出来上がり、作りながら「我が家の味」を伝授していただき、韓国の家庭の味を堪能しました。



※在日外国人啓発研究部会への参加をお待ちしています。お問い合わせは、人権協事務局まで。

聖母被昇天学院高校（アサンプション）2年生の人権学習に参加して



ここ数年来、被昇天学院高校2年生は、その人権感覚と人権意識を高める一環として、毎年人権協に年間3回の人権研修の講師の依頼があります。

学習のねらいは『様々な人同士、ともに生きることのできる社会づくり』をテーマとし、共生・反差別の精神と知識と実践的態度を育てることです。私たちもその趣旨を尊重し、できる限りのプログラムを提供し、高校生たちと共に人権問題を学ぶため講師等の派遣を行って参りました。

高校の人権教育担当の先生方の要請もあり、各学期ごとに1回の授業を担当し、今回も特に在日韓国・朝鮮人問題を通じた国際感覚の養成と日本国内の差別の現実、またチマチョゴリや韓国の遊びを通じた国際理解・異文化交流を2回にわたり実施し、人権協在日部会とトッキの会の高さん・姜さんを中心としてトッキの会員にも参加していただき皆さんの熱い思いを伝えてきました。

また、障害者部会からは車イスの大道さん・平さんの参加でその生き様や気持ちを伝えてきま

した。

ここでは内容の具体的なことは控えますが、高校2年生ぐらいの学生にとっては、非常に楽しい、衝撃のある素敵な出会いであったことは、その発言や感想でも伝わっていました。

私からは、「人権感覚や人権意識とは人間として当然身につけておかななくてはならない身だしなみである。」と言うことを具体例を出しながら丁寧に伝えてきました。

また、人権問題とは、どこかの差別されたかわいそうな人の話ではなく、一人ひとりの個々人がどのように生きるのか、と言うことであり、善意の第三者は存在しないと言うことも伝えてきました。

いずれにしても、高校生の皆さんの真剣なまなざしに圧倒され、日頃多くのことに悩み喜んでいるんだな、と言うことに接することができ、講師陣としても多くのことを学び感じるひとときになりました。

{ ヒューマンネットワーク代表
人権協事務局長 前田 功 }

2018年度 総会のお知らせ

日・時： 2018年5月26日（土） 午後3時から
場 所： 萱野中央人権文化センター（らいとびあ21）3階 ホール
内 容： **I部** ・2017年度 事業報告の件
会計決算報告の件
・役員選出の件
・2018年度 事業計画の件
会計予算報告の件

II部 講演会（予定）

詳細につきましては
後日ご連絡・ご案内いたします。
ご予定をお願いいたします。

3月の催しのお知らせ

平成29年度（2017年度）人権啓発総会

インターネットと人権 ～ネット差別の現状と対策～

障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法などが次々と施行される中、差別発言・差別的書き込み、ネットの書き込みについては有効な対策が打たれていません。特に、ネットの差別書き込みは深刻な状況です。この機会に、ネット社会の差別の現状について学び、今後どうしたらよいか、その対策をいっしょに考えてみませんか？

第1部：講演

講師 **佐藤 佳弘 さん**

* (株)情報文化総合研究所 代表取締役
* 武蔵野大学教授、早稲田大学大学院非常勤講師、
福岡県自治大学校講師



第2部：佐藤さんと小野さんの対談

小野 順子 さん

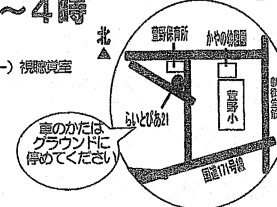
* 弁護士（メイプル法律事務所）
* 箕面市人権啓発推進協議会 副会長



3/17（土）PM2時～4時

らいとびあ21（萱野中央人権文化センター）視聴覚室

- ◇手話通訳・要約筆記あり
- ◇一時保育のみ要申込（先着順）
- 定員5名（1歳半～就学前）
- 受付期間…2/19（月）～3/7（水）



参加費 無料

主催…箕面市、箕面市人権啓発推進協議会

申込・問合せ…箕面市人権協課（TEL.724-6720、FAX.724-6010）

3.11を忘れない

2018年3月11日（日） みのお市民活動センター

13:30～16:00 「若い世代と語るういユーザーフォーラム」
～高校生が感じた被災地の「今」を語る～
第9回東日本大震災復興支援高校生現地ボランティア
2017.7.14-16 被災地訪問
コーディネーター 坂口 真（箕面ユネスコ協会代表）
パネリスト アサンプション国際中学校高等学校 大阪府立北摂つばさ高等学校 大阪府立春日丘高等学校 生徒の皆さん

12:30～13:00 チャリティコンサート
復興支援の想いをこめて、
浦らから美しいコーラスをお届けします。
アサンプション国際小学校コーラスクラブ アサンプション国際中学校高等学校吹奏楽部

11:00～15:00 復興支援物産販売
復興支援活動パネル展
3/21(日)～3/29(水) 10:00～22:00
（主催）箕面市社会福祉協議会
箕面ユネスコ協会（販売＆パネル展示）
わせねでね・気仙沼手芸コミュニティ（販売）
手をつなごうコンサート実行委員会
大塚アソシエイト
阪大災害ボランティアサークルすずらん
箕面市人権啓発推進協議会
アサンプション国際中学校高等学校

12:00～12:50・13:00～13:20 総会活動
S.A. 学協会

TEL/FAX: 072-722-2666
E-mail: forum@minoh-npo.com

【編集後記】

箕面市人権啓発推進協議会「わっと」のニュースレターVOL. 21 をお届けします。本年度は、VOL.19・20・21 の3号を発行し、人権協の活動をお知らせしました。けれども、各地区での人権啓発の取り組みをニュースにできませんでした。次年度は、是非原稿をいただき、それぞれの活動を共有することができるような記事をめざしたいと思います。よろしくお願いたします。